

教え子を再び戦場に送るな！

澤地久枝講演会 9月8日

1500人が集う

小さな人間に力がある
憲法を守るとりてを築こう



9月8日、豊中九条の会
結成二周年を記念して、「九条の会」の呼びかけ人の一人、澤地久枝さんを招いた講演会が市民会館で開かれました。

開会一時間前にはたくさん
の市民が集まり、一五〇
〇人が澤地さんの話に聞き
入りました。澤地さんは
先日亡くなった「会」呼び
かけ人の小田実さんの「小
さな人間に力がある」とい
う言葉を紹介しながら「雲

母の結晶は小さな粒ででき
ています。ささやかな志を
持つ人たちが集まってとり
てをつくりましょう」と呼
びかけられました。

最後に澤地さんもうっしょ
になって広島の中学生有志
が作詞した「ねがい」を合
唱しました。

広がる「九条の会」

二〇〇四年に澤地さん・
小田実さんなど九氏が呼び
かけられて結成された九条
の会は、全国各地に広がり、
現在では六〇〇〇をこえる
地域・職場の会がつくられ
ています。

この豊中でも、十四の
「九条の会」が活動をし、
今年8月にNHKで放映さ
れた番組でも豊中の九条の
会の活動の様子が紹介され
ました。この日、15番目の
「きらら九条の会」（障害
者作業所）が結成されまし
た。

全教

2007年9月19日

NO. 401

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

「評価・育成システム」アンケート冊子

所見も育成の方針も何もない「育成シート」も

全教豊中でまとめた06年度「評価・育成システム」のアンケートと自由記述、そして、「育成シート」のコピーを冊子にまとめまし

た。

管理職からもアンケートを返してもらっています。

開示面談も「形式的な面談」「ただ聞いたという程度」「どの部分で評価されているのかよくわからなかった」といった声がたくさんあげられています。面談の中で管理職自身評価に困っているという率直な声も出されています。

そもそも評価の基準もあいまいで（そもそもこんな形で教職員の評価ができません）賃金に評価結果を反映させるなんてもつてのほかです。

教職員の資質向上に役立たない78%
 意欲も向上しない 85%
 学校の活性化にもならない 84%

「評価結果」の賃金リンク反対

85%

賛成は0%



06年度(平成18年度)

「評価・育成システム」アンケート

資料:「評価・育成シート」の写し



豊中教職員組合（全教豊中）作成

冊子が必要な方は職場の全教組合員または、組合事務所までご連絡ください。

いつまで「同和地区」と呼び続けるのか -大阪府市長会で確認せず

同和問題解決の道は

- ・「同和行政」など特別なことはいっさいやめる
- ・法が切れ地区指定がなくなった今「同和地区」と呼称しない
- ・一市民として、福祉・教育の向上など共同のとりくみをすすめる

02年。法がなくなり、「同和地区」の指定が解除されました。しかし部落解放同盟は、昨年5月、「同和地区」と呼ぶことなどを求めた要望書を大阪府市長会や町村会長に提出しました。

これを受けて、市長会や村長会は「同和地区」の位置づけ、呼称問題に関する研究会を立ち上げ、解放同盟の要求そのままに「同和地区は存在する」という報告書を確認しようとした。

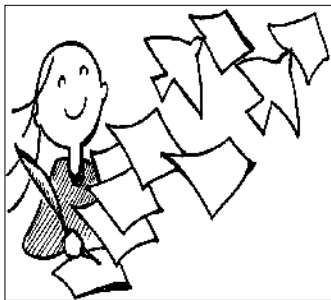
こうした動きに対し、大教組・大阪労連などが同和行政の完全終結を求める実行委員会を結成し、報告書を確認しないように府人権室や市・町村長会に要請を繰り返してきました。

7月の市長会では、「同和地区」呼称に関して、異論が出され、確認することができませんでした。市長会が確認しなかった

ことは、乱脈同和、解放同盟幹部の利権あさり等に対する府民の批判の強さの表れでもあります。

豊中市・市教委はただに同和教育は必要、部落問題学習は必要と解放同盟べったりの行政をすすめています。

豊中市でも特別なことを一切やめるといったことをすすめていかなくはなりません。



日本・世界で

あまり報道されていない情報

東大で授業料

0円

年収400万円未満

学生の運動が実る

来春から東京大学が学部学生の授業料の全額免除枠を広げます。親の年収400万円未満なら授業料（年53万5800円）が無料になるというものです。

東大の学生生活実態調査によると、年収450万円未満の学生は約14%。

東大教養学部自治会が、学費値上げストップ、負担軽減の運動にとりくんだことが実ったものです。



KYŌIKU 実践

小学校 六年 平和教育

「焼き場の少年」(ジョー・オダネル)を使って

桜井谷東小 三輪 浩一

この夏、ジョー・オダネルが亡くなったという報道を目にしました。アメリカ空爆調査団・公式カメラマンで被爆直後の長崎の写真をとっています。その中でも「焼き場の少年」という写真が有名です。

昨年6年生に、写真を見せました。

写真からわかることを書きなさい

と指示をして、プリントに書き込ませ、発表させました。



・くつをはいていない。・服がきれいでない。ポロポロ。
・くやしそうな表情をしている。
・真剣な顔。・まじめ、泣きそうな表情。・泣くのをこらえているように見える
・(何かをがまんして) 歯をくいしばっている。・何かを見つめている。・気をつけをしている。・赤ちゃんの世話をしている。・びしっとしている。背筋を伸ばしている。
・せいをきちんとしている。
・赤ちゃんがぐったりしている。赤ちゃんの首が変。・死んでいる。・子どもが(男の子)が赤ちゃんを抱いている。
・半ズボンだから夏。・昔の写真。・後の建物や地面が焼け跡みたい。

一枚の写真から、大切なこ

とを読み取っていました。

共通して男の子の表情と姿勢に注目していました。赤ちゃんが「死んでいる」という推測には、「それはいえないんじゃないか?」という疑問の声もあがりました。

その後、写真の解説をしました。写真には「焼き場の少年」という題がつけられており、45年9月に長崎で撮影されたものであること。ジョー・オダネルという軍人がとったことを説明し、彼の解説を紹介しました。

「10歳ぐらいの歩いてくる少年が目にとまりました。おんぶ紐をたすきがけにし背中に幼子をしょっています。この焼き場にやってきた強い意思が感じられました。しかも、少年は裸足でした。焼き場のふちに5分か10分ほど立っていたでしょうか。おもむろに白いマスクをした男たちが少年に近づき、ゆつくりとおんぶ紐を解き始めました。この時、私は背中の幼子が死ん

でいるのに気がつきました。幼い肉体が火に溶け、ジュウツと音がしました。まばゆい炎が舞い上がり、直立不動の少年のあどけない頬を夕陽のように照らしました。炎を食い入るように見つめる少年の唇には血がにじんでいました。あまりにもきつく唇をかみしめているので、唇の血は流れず下唇を赤く染めていました。炎が静まると少年はくるりときびすを返し、沈黙のまま焼き場を去っていきました。背筋が凍るような光景でした。」

私は、この少年の気持ちを考えるといつも涙が止まりません。

「少年はなぜ、直立不動で、唇をかみしめていたのだろうか」「沈黙のまま、焼き場を去っていった少年の想い」
こういったことも一緒に考えられると思います。